

平成30年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 研修室		
開催日時	令和元年5月18日午後14時00分		
会員総数	18名		
出席会員数	16名 内訳	本人出席	8名 委任状提出 6名

1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

2. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

平成30年度事業報告

3. グリーンスポーツ鳥取の活動内容、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① 非営利事業では年度当初の計画に沿って、グリーンフィールドでは維持管理を充実させ、サッカー、ラグビー、ホッケー、グランドゴルフの地域密着型のクラブの活動の場を提供し、その活動を支えることができた。
- ② 納涼祭を始めとする地域住民が企画するイベントの会場としての利用も継続し、芝生を生活の一部としての理解を深める役割を果たした。
- ③ 30年度も県内の新規及び既存の芝生化事業に関わり「鳥取方式®」の導入により税金の効率的な使い方にも貢献できた共に、県外は日本サッカー協会を始めとする多数な自治体や組織に対しても継続的に「鳥取方式®」の芝生化に関する技術提供もできた。

グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

- ④ グリーンフィールドの維持管理は第1、第2、第3それぞれにマイナーチェンジをしながら管理している。第1は芝刈り回数、肥料量共に例年とほぼ同一の管理とし、第2は砂地の芝生畑（1,000m²）を切芝収穫可能な状態にすると共に、少年サッカー場として利用予定の部分は十分な施肥・芝刈りを実施し、ターフの充実を図った。第3はグランドゴルフの利用状況をみながら、施肥と芝刈りを実施した。

芝生化支援事業

- ⑤ 鳥取方式®の芝生化全国サポートネットワークを通じての芝生化支援活動は継続して行った。その一つとして芝生維持管理カレンダー日の作成（年4回）を行った。
- ⑥ 鳥取県地域振興部スポーツ課「平成30年度鳥取方式®の芝生化推進事業」として東部は保育園1ヶ所、西部は保育園1ヶ所、計2ヶ所の芝生化支援事業及び芝生維持管理・技術指導を行なった。
- ⑦ 鳥取市都市整備部都市計画課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」では21年から継続して芝生化をしており、30年度は重箱公園を含め3ヶ所7,000m²芝生化された。
- ⑧ 日本サッカー協会「JFAグリーンプロジェクト」として、場所の選定・指導を行っている。全国29箇所

の保育園・幼稚園・小学校やグラウンドにポット苗（合計 124,158 m²）が寄贈された。

- ⑨ 全国各地の芝生化事業の状況としては、愛知県西尾市では（保育園 1 園 1,000 m²）、滋賀県近江八幡市（小学校 1 校 11,300 m²）、滋賀県東近江八幡市（保育園 3 園・小学校 1 校 8,500 m²）合計 14,200 m²、群馬県慶友整形外科病院（20,000 m²）、木更津市（多目的グラウンド 6,000 m²）など。
- ⑩ 芝生化事業及び維持管理の指導助言として、鳥取県立学校（高等学校 12 校・養護学校 5 校）、鳥取市保育園の芝生維持管理の助言指導を行なった。
- ⑪ ポット苗の生産と指導について、鳥取県、滋賀県、備前市、敦賀市でぽっと苗の育成について技術指導を継続して行なっている。
- ⑫ その他、「鳥取市における街区公園の芝生維持管理の実践」日本芝草学会春 2018 年度春季大会で研究発表した。「鳥取方式[®]」による芝生化面積についてインターネット情報などを用いて、全国的に再調査をした。

EASEフットボールクラブ

田中理事より下記の報告があった。

30 年度もヴァモスは会員数が安定しており、例年どおりの成績を残している。パルチーダ、ヴィオレ女子、フットサル・ミストウラは会員数が少ないので合同チームで大会に出場している。

湖山ラグビーフットボールクラブ

岩下さんより以下の報告があった。

- ① 30 年度は冬の天候に恵まれ、グラウンドに雪がほとんど積もることなく、また極寒の中ラグビーをすることなく絶好のラグビーシーズンであった。鳥取大学戦は非常に惜しい試合になった。久しぶりにトライも上げることができた。ユエグリクラブは湖山クラブ OB メンバーが所属するチームで神奈川県から来鳥して頂き交流を深めることができた。
- ② ジュニアの活動については人数が少ないながらも参加者が楽しく練習を行っている。参加した大会はタグラグビーサントリーカップ鳥取予選（倉吉）1 試合であった。

エレンシア湖山ホッケークラブ

平木さんより以下の報告があった。

メンバー大人 8 名、高校生以下 2 名で活動している。毎週土曜日 15 時～17 時グリーンフィールドで練習を行なった。大会及びイベントの参加は、主要メンバーの仕事の都合がなかなか合わず、県外への試合（遠征）は行いませんでした。目標と課題について、エレンシアも今年で結成 13 年を迎えメンバーの高齢化、慢性的なメンバー不足は今後も課題として残るが、練習がストレス解消と健康増進に一役かっている。

4. 決算報告

事務局太田より、平成 30 年度の決算報告があった。

5. 会計監査報告

法人監査井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

6. 質疑応答・承認

質問及び異議もなく、30 年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

令和元年度事業計画案

1. 芝生化支援事業の見通し等

- ① 今までの方針を継続して、当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成及び地域樹民の生活の中の「芝生の広場」の利用を通じての町づくり促進や青少年の健全育成のため、芝生広場を維持管理すること。また、グリーンフィールドで実施している「鳥取方式®による芝生化」を鳥取県内外の空地、公園、保育園の園庭、小中高学校の校庭、スポーツグラウンドの芝生化の支援活動を通じて、「鳥取方式®による芝生化」の正しい普及に努めること。
- ② 鳥取市都市環境課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」として、市民スポーツ広場など6箇所（23,900㎡）行う予定。
- ③ 日本サッカー協会「JFA グリーンプロジェクト」全国の保育園、小学校、グラウンド等29ヶ所（134,149㎡）ポット苗を寄贈予定。
- ④ 鳥取県地域振興部スポーツ課の鳥取方式の芝生化促進事業（保育所・幼稚園・小学校の園庭芝生化事業）について要望のある保育園・幼稚園・小学校の芝生化を31年度も継続。31年度は保育園を3園行なう。
- ⑤ 全国各地の芝生化事業の状況は、滋賀県近江八幡市（小学校1校、運動公園3箇所）、滋賀県東近江市（保育園2箇所）、岡山県新見市神郷温泉グラウンド（13,380㎡）、別府市明星小学校（3,666㎡）など行う予定。
- ⑥ ポット苗の生産と技術指導を鳥取県、滋賀県、備前市、敦賀市で継続して行う。
- ⑦ 近江八幡市では3年前から芝生化した小学校の子供達の体力の変化、土の校庭の子供達の体力の違いについて統計をとっている。
- ⑧ 今年9月鳥取大学で日本芝草学会が行われる。13年前に鳥取方式®を始めた中野氏、鳥取県職員も発表する。また、この日程に合わせて「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」の芝生化アカデミーのイベントも行う。
- ⑨ グリーンフィールドの維持管理については、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲともに芝刈り回数、施肥ともに例年とほぼ同一の管理とする。
- ⑩ その他、（1）「校庭芝生化が児童の体力に及ぼす効果の検証」と題し、日本芝草学会春2019年度春季大会で研究発表。（2）「教育現場から見た校庭芝生化の効果と課題化面積について」JFA 根本敦史氏が早稲田大学大学院修士論文発表。

3. EASEフットボールクラブ

サッカーにおいては、県内外のチームと交流試合、県外遠征等積極的に活動する。多くの県内外のチームと交流する。フットサルにおいてはミストゥーラ主催のリーグ戦を開催する。グラウンド整備を行いより良い環境づくりに努める。今年度も同じような人数になると思われる。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

令和元年は2019ワールドカップ日本大会開催の年であり、2015年南アフリカを倒したイングランド大会と比べても一層ラグビーが注目され、体験会を開催することで、ラグビーファミリーを増やす予定。特にジュニアが増えるような活動を行いたい。

5. エレンシア湖山

エレンシアでは、既存のホッケークラブでは満たしきれないメンバーのニーズを受け止める存在として今後も細々と活動していく。試合は、その時に集まる人数によってやっていきたい。

6. 自治会との連携

今日、まちづくり協議会・グリーンスポーツ鳥取の関係者合同で北岸清掃北岸清掃を行った。

7. 令和元年度の予算案

決算同様に令和元年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。

8. 質疑応答・承認

ラグビークラブより、夏ワールドカップに備えて体験会を行いたいと要望があり、時間の管理、水分補給、安全を厳守することを条件に承諾した。4月～5月に鳥大生が船着き場の駐車場でバーベキューをよく行っているが、芝生の上でした方が気持ち良いと思うがどうでしょうか？と質問があり、グリーンフィールドの隅で行うのは構わない旨を学生に伝えるとの回答があった。その他の質問及び異議はなく、満場一致により承認された。

9. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後3時30分に閉会を宣した。

10. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

11. その他

グリーンフィールドでゴルフの練習をする人が以前に比べて常識的になってきた。

閉会の挨拶

スミス理事長より、鳥取市立日進小学校の父兄より、遷番小学校に比べ校庭芝生の状態がとても悪いのはなぜかと問われた。鳥取市教育委員会の予算の芝刈り回数で足りなく、徐々に芝生の状態が悪化している。

この事実を鳥取市教育委員会に理解してもらえるよう根強く交渉していきたい。

との挨拶で、総会を閉会した。

令和元年5月18日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長

谷尾 洋介



会員

ニール スミス



会員

中野 淳一

